



ラーニング指標  
言語スキル  
言語的推理  
計算能力  
数的推理

繰り返し学習する  
Repetitive Processing

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

素早く学習する  
Quick Processing  
語彙力  
Vocabulary  
言葉を用いる問題解決力  
Word Reasoning  
数字の処理能力  
Problem Solving  
数字を用いる問題解決力  
Data Reasoning

思考スタイル  
情報を処理するスピード

エネルギー  
主張性  
社交性  
組織従順性  
態度  
決断性  
協調性  
独立性  
判断の客観性

着実に行う  
Methodical Tasker  
コントロールに無関心  
Less Controlling  
洞察力がある  
Discerning  
構造は最小限  
Less Structure  
健全に疑う  
Healthy Skepticism  
熟考  
Deliberative  
自説を持つ  
Opinionated  
管理・監督を受け入れる  
Open to Supervision  
直感重視  
Intuition

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

同時に複数のことをこなす  
Multi-Tasker  
コントロールに関心  
More Controlling  
社交的  
Outgoing  
構造を好む  
Prefers Structure  
信じる  
Trusting  
素早い意思決定  
Quick Decisions  
意見をまとめる  
Consensus Builder  
管理・監督は最小限  
Minimal Supervision  
事実重視  
Fact-Based

行動特性  
自分にとって居心地のいいゾーン

事業開発  
財務・事務管理  
人的サービス  
研究・分析  
機械・作業  
クリエイティブ

セールス、説得、起業家、営利志向  
事務/財務、オフィスワーク  
人を助ける、人と協力する  
科学的研究、データを扱う  
ものづくり、機械を扱う  
創造性、イノベーション、芸術

仕事への興味  
関心のある活動領域

# リーダーシップと実行のためのツール

## PXTの活用方法

1. **気づき** – 自分自身を知り、違う特性の人に対し自分の行動がどんな影響を与えているかを理解します。
2. **最適実行** – コミュニケーションにおける緊張を和らげて、パフォーマンスを向上させます。
3. **個人やチームに対するコーチング** – 互いのプロフィールを比較します。相手のPXTスコアは、あなたより左に寄っていますか？それとも右ですか？期待する結果を得るためには、必要に応じてあなたのアプローチを調整することが大切です。

## 部下のコーチングには3つのセクション全てを活用する

- 思考スタイル – 情報の流れをコントロールする
- 行動特性 – 行動の傾向性をコントロールする
- 興味 – 共通点を探す

## PXT行動特性

- スコアの位置は、自分の居心地の良い位置
- 効果的に作用するためには、自分をその方向へストレッチする
- ストレッチが必要な場合でも、気づきと経験によりストレスを軽減できる

## 顧客/見込客との商談

顧客/見込客のPXTスコアの位置を予測し、自分のPXT情報と合わせて調整します。  
それにより、コミュニケーション上の緊張を緩和させ、効果性を高めることができます。

## 正/負の相関関係のある行動

- 「主張性」と「協調性」
- 「組織従順性」と「独立性」
- 「決断性」と「判断の客観性」